

運動を「好き」「楽しい」「得意」と感じられるように

～令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査より～

スポーツ庁は、毎年、小5・中2を対象に全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施しています。

多治見市では、小・中学校の全ての学年で体力テストを行う他、独自に幼稚園・保育園においても「握力」「立ち幅跳び」「ボール投げ」の3種目で体力テストを実施することで、子どもの体力・運動能力の実態を継続的に把握し、各園・学校の体力向上に関する取り組みの改善に役立てています。

また、小学校の体力テストでは、名古屋学院大学のご厚意により学生ボランティアを派遣していただくことで、児童が力いっぱい取り組める環境づくりと、正確な測定が行われるようにしています。

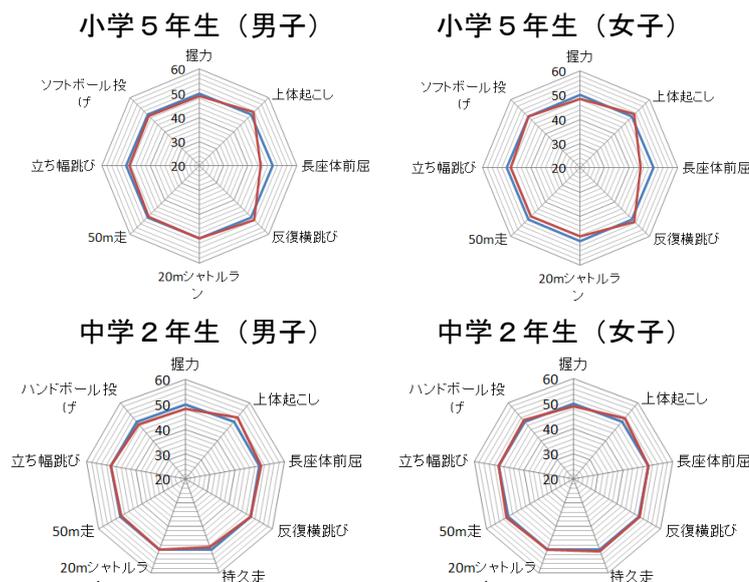
ここでは、本年度の結果をお知らせします。

○ 体力合計点の平均値による全国との比較

学年	項目	男子		女子	
		全国	多治見市	全国	多治見市
小学5年生	体力合計点※1	53.61	52.30	55.59	53.79
中学2年生	体力合計点	41.69	41.86	50.22	50.92

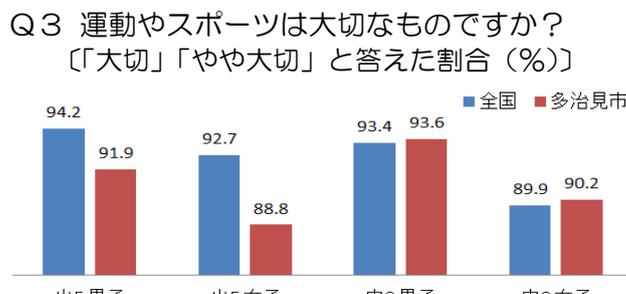
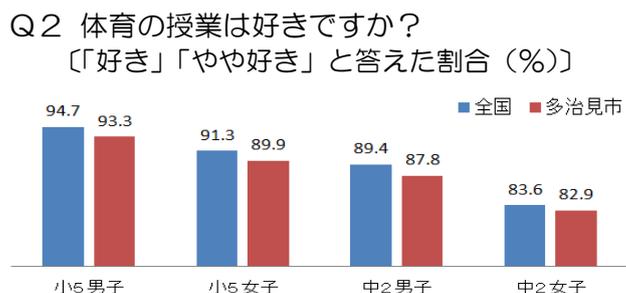
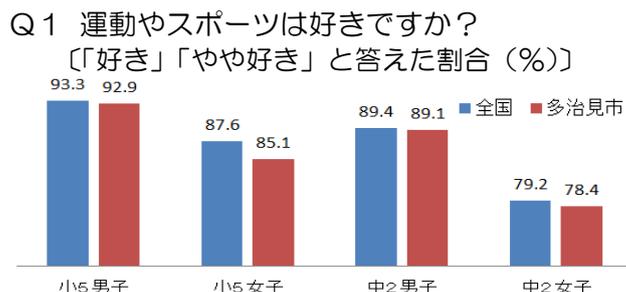
※1 体力合計点…実技テスト項目における得点の合計です。

○ 種目別のT得点※2による全国との比較



※2 T得点…全国平均値(50)に対する相対的な位置を示しています。

○ 運動に対する子どもの意識の全国との比較



多治見市の子どもたちの体力・運動能力について、体力合計点やT得点を見ると、小学5年生の長座体前屈(体の柔らかさ)が顕著に下回っていることが分かります。しかし、他の種目については、学校種別、男女別、各種目で全国平均と多少前後するものの、総合的には概ね“全国平均並み”ととらえることができます。また、運動に対するさまざまな子どもたちの意識を見ても、全国平均とほぼ同様の結果と見ることができます。

この結果は、多治見市立の幼稚園、保育園、小学校、中学校を「健康・体力づくり」でつなぐ『子どもの健康・体力づくりたじみプラン』を平成24年度から継続してきた大きな成果といえるでしょう。

多治見市では、各園・学校において「健康・体力アッププラン」に基づく取り組みを行っています。幼児期には「いきいき運動遊び」、小・中学生期には体育学習の充実に加え、「体トレ・外遊び」の推奨、県教育委員会が実施する「チャレンジスポーツ in ぎふ」への積極的な参加など、運動に関する「有能感」を高める取り組みを進めています。

これからも、子ども自身が運動を「好き」「楽しい」「得意」と感じられるよう、各園・学校で積極的に取り組んでいきます。

